

編集後記

初めて紀要の編集をして、いろいろとまどうこともあったが、学術情報部の高橋恵美さんと情報研究所の高田正之教授の協力によりなんとかまとまった。深く感謝する次第である。今後も充実した記事を掲載し、江戸川大学の情報教育や情報環境になんらかの寄与をするよう努力したい。

掲載記事執筆者の紹介

(1) 石田義明 江戸川大学教授 情報研究所所長

1973年東京工業大学大学院応用物理学専攻博士課程中退。そのまま同理学部助手となり、不規則系の物性理論を研究してきた。1990年に江戸川大学に移り現在に至っている。文科系の学生に役立つようなファジィ理論や階層分析法などの意思決定理論への応用などに興味を持つ。また学生ポートフォリオのような教育支援システムの開発にも関心がある。

(2) Zhan Ping 江戸川大学准教授

中国の大学院修士課程修了後、1985年留学のために中国の上海から来日、筑波大学の社会工学研究科で博士号を取得し、筑波大学の社会人向けの夜間大学院に準研究員として勤めた。1997年、江戸川大学の情報環境学科新設と同時に、専任講師として着任。専攻は数理計画の組み合わせ最適化理論。現在、最適化の理論の基礎、サブモジュラーシステム、組み合わせ幾何学、整数計画に取り組んでいる。

(3) 廣田有理 江戸川大学准教授

早稲田大学大学院修了。ソフトウェア企業に入社し、十余年にわたり卸・流通業向けのシステム開発を行ってきた。2007年に江戸川大学に就任し、現在に至る。専門はソフトウェア工学、プロジェクト管理など。現在eコマースシステムの実践的構築によりシステムを学ぶための、eコマース実習システムの研究を行っている。

(4) 谷川正継 江戸川大学非常勤講師

2010年デジタルハリウッド大学大学院デジタルコンテンツ研究科デジタルコンテンツ専攻修了。デジタルコンテンツマネジメント修士。2006年より江戸川大学でマスコミ演習・実習のデジタルメディア（旧デジタル編集）コースを担当している。コンテンツ学会、USTREAM研究会、ソーシャルメディア研究会などに所属し、メディアとしてのネットの可能性、利活用方法を研究している。